

股関節脱臼の予防

生まれたばかりの赤ちゃんの足は、膝を軽く曲げたM字型に開いています。この自然な形を大切に、足を強く引っ張ったり、無理に伸ばそうとしないようにします。股関節脱臼は赤ちゃんに多い症状です。赤ちゃんの股関節はゆるく、脱臼しやすい状態になっています。そのため、足を無理に伸ばそうとすると脱臼してしまうことがあります。股関節脱臼にならないために以下のことを心がけましょう。

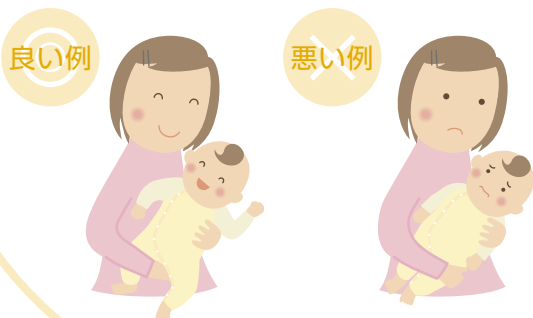
おむつの替え方

おしりの下に横から手を入れ、おしりを持ち上げます。片足だけ持つ、足首を持って引っ張りあげるのはやめましょう。



抱っことおんぶ

横抱きで足を広げたまま股の間に手を入れる、または首の後ろを支えてたて抱きにします。おんぶベルトやスリング等は月齢に合った正しい使い方をしましょう。



衣服の選び方

できるだけ、ゆったり大きめなものを選び、伸び縮みが自由なものにしましょう。また、ズボンの裾が狭い、つま先までくるまれるベビー服は足の動きが妨げられるようでしたら、着せないようにします。寒くなる時期にはおくるみなどできつく巻かず、M字型の足が保てるようにしましょう。

